

# JR東日本労働組合

## 東日本秋田ジャーナル

JR東日本労働組合  
 秋田地方本部  
 発行者 / 加賀谷 幸実  
 編集者 / 教 宣 部  
 秋田市中通6丁目7-9秋田県畜産ビル1F  
 TEL 835-4040 FAX 835-4060

# 秋田地本・貨物鉄産労 合同旗開き開催！！

1月14日、JR協議会と共にイヤタカに於いて新春合同旗開きを開催しました。

冒頭、加賀谷委員長からは「寒さの厳しい中、鉄道の安全安定輸送に頑張る組合員の皆さんに労いの言葉を申し上げる。中執・地方代表者会議で議論したが、2月の中央委員会で2017春闘の要求が決定され、組合員の行動も提起し要求獲得に向けて取り組んでいく。選挙の年でもあり、組合員の皆さんの協力をお願いしたい。」と、挨拶をしました。



## 底上げ春闘を取組もう！

藤井連合秋田事務局長からは『昨年より色々な取り組みに協力頂き、本年も同じ運動をしていく喜びがある。春闘前に失業者対策・非正規雇用への対応等が取沙汰され厳しい年になる。』

(次項)

あつたにんからあつたにん

- 連合秋田事務局長 藤井慎吾様
- 民進党秋田連合会 沼谷純様
- 社会党秋田連合 石川ひとみ様
- 東北労金県本部 小松昭彦様
- 秋田支店 小林瑞穂様
- 全交運秋田事業部 高橋治嗣様
- 退職者連絡会 菅原清様
- 秋田市議会議員 藤枝隆博様

## 渡辺本部委員長挨拶要旨

最強の寒波の中、奮闘している組合員の皆さんに激励と感謝を申し上げる。2017春闘要求を中執で議論し2月の中央委員会で決定する。

JR30年という節目の年、この会社が鉄道という社会インフラの一翼を担い将来にわたって発展し、信頼され続ける企業であるためには労働組合の任務は重大だ。①信頼の基本は安全であり労働組合としてチェック機能を強化していく。②JRに働く労働者に相応しい労働条件の確立と賃上げを求めていく。

日本人は政府が平気で嘘をついても怒らなくなっている。自由・共生・未来への責任という結党の理念に基づき、自民党との対抗軸を明確にした政策を対置し国民からの信頼を回復させるとともに野党共闘でのリーダーシップに期待したい。今年一年、組合員と家族の幸せ実現のために頑張っていきたい。





(続き) 連合秋田も春闘の議論をスタートさせた。とりわけ底上げ春闘をしっかりと取り組む方向と非正規労働者を組織し、労組のない所にもアピールしていく。選挙の年でもあり知事選も佐竹県政のこれまでの検証をし対応していきたい。働く者とその家族が安心して働き生活できる地域社会を目指していく。』と挨拶。ご来賓の皆さんからもお祝いとご祝辞を頂きました。また、渡辺能代市議からもお祝いが届けられました。

佐藤晴美貨物鉄産労委員長の乾杯で乾いた喉を潤し新年の挨拶を交わしました。今年の大抽選会も大いに盛り上がり、最後の賞を射止めたのは秋田

駅連の菅原仁さん。当選の瞬間、飛び上がってその喜びを爆発させていました。

最後に組谷JR秋田協議会議長の一本締めで閉会したところです。

## 秋田地本各種協議会合同会議報告 新たにマラソンサークルも結成！！

新春旗開きの前段に行われたこの会議、司会の佐藤副委員長から「協議会合同会議を一年の節目にし、定期総会や本部協議会に問題をあげていく一環にしていきたい。」との提起がされ、各協議会に分かれて議論が交わされました。

運転士協議会からは『本業以外の仕事をやれば昇進が早まる。それが技術能力の低下につながっていると言われている。女性社員へのインフラ整備が不十分。』検修協議会からは『業務委託が進んで、受けた側の協力会社の問題が多い。制度の見直し含めた議論をしていきたい。』設備協議会からは『技術継承が追い付い



## 走り始めました！

この日の結成総会では市民ランナー向けへの参加を含めた補助体制や、サークルを通じた交流の拡大を確認しました。

『ウォーキングから始めているあなたも、定期的に計画されている懇親会で話を聞いてみる事からでもOKです。是非、声を掛けてください。もちろん、組合関係無しの交流もアリです！』  
詳しくは藤田まで！！。



ていないのが現状だ。池袋の汽笛吹鳴、一歩間違えれば大事故。若い社員とベテランとの意思疎通が不十分だし、現場にいる時間が少ないのも一因だ。』

他にも定期的に常任委員会を開き具体的な要求にまとめ上げている協議会もあり、それらの報告を受けて工藤業長は『会社からの団交事案が多くなっている。日頃からの改善事項含めて要求をまとめ組織の強化・拡大につなげていきたい。』と、総括しました。